

Bell Friend

鈴鹿大学短期大学部 鈴友会会報 No.9
令和7年2月1日発行



目 次

○ご挨拶	2
○学生たちの今	3
・大学祭を開催して	・活躍する学生たち
○短期大学部での学び	4
・こども学専攻	・食物栄養学専攻
○活躍する卒業生の紹介	5
○鈴友会活動	6～7
・令和6年度総会報告	・新役員の紹介
○恩師からの便り・卒業生の近況	8

ご挨拶



鈴友会 名誉会長

水谷 明弘

〔鈴 鹿 大 学 学 長
鈴鹿大学短期大学部 学長〕

鈴友会会員のみなさまには、平素から母校の教育活動全般に渡りご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、鈴鹿大学短期大学部は、時代の趨勢には逆らえず募集停止が理事会で決定され、ご承知のとおり令和6年4月2日に最後の入学式を行いました。多くの関係者から残念とお声もいただいておりますが、母校がなくなったのではなく、四年制の鈴鹿大学に合併し新たなスタートを切ったと考えていただければと思います。

少子化の影響を受け、全国的に地方小規模私立大学の経営は厳しい状況ですが、本学はさらに教育改革の遅れが影響し、運営が大変厳しい状況になっております。このような逆境下、令和5年度から全学で取組んでいる学生支援体制が県内高校や日本語学校に認知され、令和6年度の入学生は久しぶりに230名を超え、二学部及び大学院とも募集定員を上回ることができました。さらに、新たな企画や挑戦も行っております。例えば、国策である理系学生の養成のための新学科設置も採択され、準備に取り掛かっております。

今後は、「地域とつながる」「世界とつながる」「未来とつながる」をスローガンとして、本学の強みや学生の活躍等をHPやSNSで発信し、地域に必要とされる大学として認められるよう教職員一同全力で取組んで参りますので、鈴友会のみなさまにも是非応援していただけると嬉しいです。

最後に、「本学応援寄付」（詳細は大学HPでご案内中）にご協力いただけると大変うれしいです。



鈴友会 会長

鎌田 美千代

（昭和56年度卒業・養護教諭）

鈴友会会員の皆さまには、本会活動にご支援を賜りありがとうございます。

昨年元旦の能登半島地震、9月の能登半島豪雨の被害を受け被災されました皆様に、心よりお見舞い申しあげます。鈴友会には石川県に49名、富山県に32名の会員の方々がおります（平成30年の資料より）。会員の皆さまの無事を願い、一日も早く以前の生活を取り戻せますよう、お祈り申しあげます。

さて鈴友会では、今年度より会員構成を見直し、これまでの特別会員、通常会員に加えて、在学生から入会する「準会員」を設けることになりました。社会の変化、時代の変化に対応するため見直しが必要となり、鈴友会活動への参加を通して、交流と親睦を深め会員相互の関係を密にすることを目的としています。会則の改正は、令和6年の総会で承認を得てホームページにも掲載されています。鈴友会の総会を大学祭開催時に開いていますが、在学生に同窓会を知ってもらう機会になっているのではないかと思います。

短期大学部もあと1年ほどとなりましたが、短期大学の良さは、少人数でアットホームな雰囲気の中、2年間で特定分野を集中的に学び、早くからキャリアを始められるという良さがあり、そんな短期大学で私たちは大事に育ていただいたと改めて感謝の気持ちを持ちました。限られた時間のなかでの活動になりますが、今後とも鈴友会へのご協力をよろしくお願いいたします。



滋賀県支部長

原 浩子

（平成30年度卒業・食物栄養学）

鈴友会会員の皆様方には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、滋賀県支部の活動にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

2023年3月の滋賀県支部交流会で役員交代があり、支部長をさせていただくことになりました。まだまだ未熟ではございますが、精一杯務めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

さて、私事の話になりますが私は2017年、50代で鈴鹿大学短期大学部に入学し、食物栄養学を学びました。入学すると自分が思っていた以上に大変で、記憶や体力の衰えを実感しました。しかし、講義で学んだ新しい知識はとても新鮮で充実した日々でした。

昨年10月に鈴友会総会が行われ、卒業して以来久しぶりに大学へ行きました。その日は、ちょうど大学祭もあり、賑やかでたくさんの方が来られていました。模擬店もいろいろ出店されていて、私も「玉せんやたこ焼きを作ったなあ」と懐かしく思いました。先生方ともお出合いすることができ楽しい一日となりました。

鈴友会は、同じ母校で学んだ人たちの心の拠り所（よりどころ）です。今後も鈴友会の活動が末長く続きますよう私も微力ながら務めていきます。会員の皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

学生たちの今

新型コロナウイルス感染症の拡大から、大学内における授業環境の変化に合わせ、学生による学内イベントや課外活動等が数多く中止や縮小を余儀なくされました。令和5年5月8日からは「5類感染症」の位置付けになり学生の行事や課外活動にも活気が戻ってきました。令和6年度の「鈴大祭」では短期大学部生と学部学生が協力して企画展や模擬店を積極的に参加し会場を盛り上げて頂きました。課外活動においても多くの学生達が大きな成果や活躍をしてくれました。

大学祭を開催して

令和6年度大学祭実行委員長 佐脇 啓太郎

令和6年度は、30th anniversary “beyond the border” (困難を乗り越えよう！開学30周年)をテーマに掲げ鈴大祭が無事に終わり、関わってくださった皆さまに心から感謝申し上げます。

今回の大学祭は天候にも恵まれ多くの方々を訪れてくださり、大変盛り上がりました。開催までの準備等は大変な部分もありましたが、実行委員会の仲間たちのサポートやサークルメンバー、ボランティアの方々との協力し合い、スムーズに進めることができました。模擬店やライブステージ、展示コーナーなど、あらゆる企画でお客様の楽しむ姿を拝見し、大きな達成感を得ることができました。特に、ステージパフォーマンスでは、多くの観客の皆さんが拍手や声援を送ってくださり、出演者も観客も一体となった瞬間を味わえたことがとても印象に残っています。また、多くのお客様から「楽しかった」「また来たい」との声をいただけたのは、準備に費やした時間が報われたようで、とても嬉しかったです。



今回の大学祭を通して、仲間達と協力することや、何かを一から作り上げる喜び、そしてそれを多くの方々に楽しんでもらうという経験等、これから社会に出る人間として多くの学びを得ることができました。改めて、来てくださった皆さま、ご協力いただいた皆さまに、心から感謝申し上げます。来年は後輩たちが更に「楽しい」を届けてくれると信じてバトンパスをしたいと思います。

改めて、本当にありがとうございました！

活躍する学生たち

■ 海岸清掃ボランティア活動で活躍する留学生！

ICC (International Communication Club) は、ウミガメネットワーク三重の指導の下で、数回にわたり鈴鹿市や津市の海岸清掃ボランティアを実施した。留学生は、様々な活動を通して各国の風土の違いや情報交換を積極的に行っています。



■ 2024FIM 世界耐久選手権 鈴鹿8時間耐久ロードレース第45回大会 (SST クラス) 優勝で活躍！

吉田愛乃助 (国際地域学部・国際地域学科3年) は、学業とライダーを両立し有意義な学生生活を送っています。



■ 創部2年で活躍する女子ソフトボール部！

東海地区大学ソフトボール秋季大会において、選手は1・2年生で16名のなか、念願の一部リーグ昇格を果たしました。



短期大学部での学び

こども学専攻は三重県委託訓練事業で入学した社会人経験者の方の学びの様子を、食物栄養学専攻はフィールドワーク*授業の様子をご紹介します。

※フィールドワークは、各ゼミで独自の研究課題を見出し、研究計画書に沿って実践し、調査報告書およびポスターを作成し1年生を対象に発表を行う授業です。

こども学専攻

こども学専攻 主任 准教授 石川 拓次

同窓生の皆さん、こんにちは。こども学専攻です。短期大学部では、数年前位から三重県の委託訓練事業として保育士の資格を取得したい社会人経験者の方々が入学しています。今回はその中の一人をご紹介します。

◆保育士になるために・・・

Yさんは、8歳と6歳のお子さんがいるママです。昨年度保育士の資格を取得するために一念発起して、この委託訓練事業で本専攻に入学しました。子育てや家事で忙しい中、毎日の授業や定期試験に真剣に取り組んできました。また、昨今の短大は通常行われる授業だけでなく、授業前後で出される課題にも取り組む必要があります。その課題に子ども達が寝てからの深夜に取り組むことも多かったようです。そして、2年生からは保育所や幼稚園での実習が始まり、さまざまな壁を乗り越えてきました。

◆「前を向いて話せた！」

こども学フィールドワークの授業では、三重県立みえこどもの城にて行われるイベントの企画運営をゼミ員みんなで協力して行いました。Yさんも始まる前はとても緊張していましたが、ステージに立ってはっきりとした口調で参加者の親子たちに説明をしていました。最後の反省会で、本人から「前を向いて話すことができました」という言葉を聴き、人はいつでも成長することができるということを実感しました。来年の4月から保育園で働く予定となっています。自身の目指す保育を究めていってほしいものです。



食物栄養学専攻

乾ゼミ

教授 乾 陽子

今年度乾ゼミでは、保育園での食育に取り組んできました。学生たちが幼児の食の課題について調べ、課題克服のために園で実践できそうな内容を提案して実践しました。

伝えたい内容をわかりやすく伝えるために、何度も試行錯誤して実践しましたが、ねらいに定めた「知識を得る」ところが5歳児にとっては難しい内容だったとわかり、学びにつながりました。園児にとってはこれらの取り組みが野菜等に興味を持つ良い機会となったようで、活動後でも継続して話題に上り自ら試してみる姿勢も見られるなどよい効果があったと担任の先生から報告を受けました。ご協力いただきました園の園長先生はじめ諸先生方に感謝申し上げます。



木下ゼミ

准教授 木下 麻衣

木下ゼミでは、日清医療食品株式会社様ご協力のもと、給食管理の実践について学んでいます。超高齢化社会を迎え、高齢者の健康問題、とりわけフレイル予防の食事を、日本の食文化を活かし考えました。ゼミ生一人ひとりがアドバイスをいただきながら、献立を考え、実際に調理しました。また、少子高齢化などによる労働力不足でも、食事作りを止めないためにどうしたらいいか、その問題の解消のひとつの方法として、クックチル商品の活用について教えていただきました。クックチル商品とはどのようなものか、また味はどうかなどを実際に体験させていただきました。実際の施設で食事を提供する際に気を付けていること、衛生管理なども教えていただき、とても勉強になりました。毎回、貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。



活躍する卒業生の紹介

「人生 100 年時代」 挑戦する気持ちと感謝の気持ちを忘れずに学び続けたい

昭和 60 年度卒業・食物栄養／令和 7 年 3 月 こども学専攻卒業見込み 山本 典子



鈴友会会員の皆様、こんにちは。私が鈴鹿短期大学を卒業した時、校舎は庄野にありきれいな鈴鹿川の川辺で 2 年間学びました。トンネルを抜けると学生寮があり全国から学生が学びに来ていたのを懐かしく思います。

◆食物栄養専攻卒業後は、鈴鹿高等学校と鈴鹿短期大学に勤務

少し自己紹介をさせていただきます。私は鈴鹿短期大学の家政学科食物栄養専攻に入学し、硬式テニス部に所属して充実した 2 年間を過ごしました。当時、硬式テニス部は強化クラブとして東海学生 1 部リーグ昇格にむけて合宿や遠征など、学業は二の次で毎日テニス部の活動に専念していた学生生活で部活を頑張った 2 年間でした。



卒業後は、鈴鹿高等学校の事務職として 8 年間勤務して結婚を機に退職しましたが、また機会をいただきました鈴鹿短期大学の職員として勤務することになりました。第 3 代学長の佐治晴夫先生が就任され、生活学科生活学専攻保育士コースが設置された時です。佐治学長の秘書的業務も担当させていただいたおかげで、視野が広がり学び続ける大切さを知りました。毎日学校犬すずと一緒に出勤したのも楽しい思い出です。また短大のお引越しも経験させていただきました。庄野キャンパスから現在の郡山キャンパスに移転し大学に統合され、今までとは違い戸惑う事も多かったです。短大職員としては 11 年間、



主に就職支援を中心に学生のために頑張りました。その後は短大でのキャリアを生かし別法人で短期大学の開学に携わりましたが、退職をして新たに挑戦することになりました。

◆新たな挑戦、こども学専攻に入学

その挑戦とは、もう一度鈴短で学ぶことです。就職支援に携わっていた時から「保育者」としての専門性を生かした職域の広さや遣り甲斐について感じていました。「学び続ける大切さ」を思い出し、令和 5 年 4 月にこども学専攻に入学し、この 3 月卒業予定です。今回はもちろん学業最優先で若い同級生達に刺激を受けながら記憶力の低下と闘いながら学んでいます。昨年 6 月の保育実習では鈴鹿短大の卒業生が園長を務める幼保連携型認定こども園で卒業生の活躍を見ながら勉強させてもらいました。9 月の幼稚園実習では保護者から「私、鈴短の卒業生です。覚えていますか？」と声をかけてもらったことがとても嬉しかったです。10 月の大学祭では「すずたんのおねえさんとあそぼう」（おねえさんに違和感を感じながらも）、地域の方々と接して子育て支援活動も経験をさせていただきました。



◆最後に

振り返ってみると、職員（鈴鹿高校も含める）として、学生として 23 年間お世話になりました。保育士コースを設置した年に職員として携わり始め、この 3 月こども学専攻の最後の学生として卒業をします。常に心に留めおいているのが建学の精神「誠実で信頼される人」と「感謝の気持ちと畏敬の念をもとう」です。鈴鹿短大での経験と学びを生かし、「人生 100 年時代」を社会の変化に対応しながら挑戦する気持ちと感謝の気持ちを忘れずにこれからも学び続けたいと思っています。

鈴友会活動

令和6年度 総会報告

鈴友会 顧問／食物栄養学専攻 教授 **福永 峰子**（昭和53年度卒業・食物栄養）

令和6年10月27日（日曜日）に、鈴友会総会を開催しました。

総会では、はじめに鈴友会名誉会長の水谷明弘学長からご挨拶をいただきました。続いて鈴友会会長、滋賀県支部長の挨拶の後、議長を選出し議事に入りました。議事では、令和4年度・令和5年度の事業報告および会計報告、令和6年度・令和7年度の役員改選および事業計画、会則変更についての審議が行われました。審議の結果、全て承認されました。

県内外から参加していただいた卒業生は、恩師の先生や久しぶりに会う同級生との再会を懐かしみ、楽しいひとときを過ごすことができました。また、当日はキャンパスで大学祭が催されており、総会終了後に企画展や模擬店などにお子さんと参加され楽しまれている様子が微笑ましく心が和みました。



水谷学長のご挨拶



原支部長の挨拶



議案審議の様子

参加された卒業生のみなさんからメッセージをいただきましたので、その一部をご紹介します。

○時代の流れとともに短期大学の学生募集の停止は残念ですが、大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。（昭和61年度卒業・商経）

○総会のご準備などお世話になりありがとうございました、卒業してからも帰れる場所があることは安心できると思います。これからもよろしくお願いいたします。（平成29年度卒業・食物栄養学）

～ 総会に出席して ～

向山礼子・福井宣子（昭和57年度卒業・食物栄養）

令和6年の秋晴れの下、鈴鹿大学短期大学部鈴友会総会が無事に開催されました事、誠にありがとうございます。鈴鹿市内を一望できる高台に歴史的建造物を思わせるほどの素晴らしい学び舎が私たちを待っていていました。迷子になりつつ会場入りすると恩師の姿が。顔を拝見して懐かしさと共に42年、変わらずにいて下さることを嬉しく思いました。

総会が終了して、大学祭で賑わう中庭へ移動して、眩しいほど生き生きと活動する学生の姿に羨しさも感じつつ、模擬店で買ったネパール焼きそばを友人と食べながら、昔話にふけていました。鈴短の校舎は堤防沿いにあり、体育の時間のテニスが楽しかった事や実習で毎日忙しい日々を送っていた事を話していました。以前の栄養計算は手計算でしたので工場実習の課題は想像を絶するものでした。夏休みなどは外部実習三昧で、苦い経験も今となっては笑い話になっています。

総会のはじめに名誉会長の水谷学長のお話に耳を傾けていました。少子化時代の学園経営が大変厳しいことは少し理解しています。学園も外国の留学生が多いことも知りました。学部の新設、地域に根付いた人材づくり、身を粉にして学園経営に尽力されている姿に感銘を受けました。

将来、この学び舎に卒業生が幾度となく集える事を切望いたします。



福井宣子さん 向山礼子さん

令和4・5年度 事業及び会計報告

● 事業報告（令和4年4月1日～令和6年3月31日）

令和4年度 役員会：5/28.7/2.9/10.10/2.11/16.1/21 総 会：10/30 滋賀県支部交流会：3/26 令和5年度 役員会：6/10.9/30.2/3	＊総 会 ○ 令和2・3年度事業・会計報告 ○ 役員選出 ○ 令和4・5年度事業計画（案） ○ 会則改正（案） ＊役員会 ○ 総会開催の準備 ○ Bell friend No.8 発行 ○ 卒業記念号発行 ＊滋賀県支部交流会 ○ 役員選出
--	---

● 会計報告書

令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位 円）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金(普通預金) ^{※1}	1,719,412	印刷費	195,009
終身会費(R04年度卒業生)	195,000	消耗品費	30,628
利息(普通預金)	13	通信費	231,047
		交通費	6,000
		その他	8,680
		卒業記念品	20,500
		小 計	491,864
		次年度繰越金 ^{※2}	1,422,561
合 計	1,914,425	合 計	1,914,425

※1 終身会費(R03年度 卒業生) 275,000円含む

※2 終身会費(R04年度 卒業生) 195,000円

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

（単位 円）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金(普通預金) ^{※1}	1,422,561	印刷費	96,135
終身会費(R05年度卒業生)	195,000	消耗品費	5,920
終身会費(R06年度卒業生)	135,000	通信費	385,302
利息(普通預金)	12	交通費	40,500
		その他	17,530
		卒業記念品	19,000
		小 計	564,387
		次年度繰越 ^{※2}	1,188,186
合 計	1,752,573	合 計	1,752,573

※1 終身会費(R04年度 卒業生) 195,000円含む

※2 終身会費(R05・R06年度 卒業生) 330,000円

上記の通り、ご報告いたします。

令和 6 年 9 月 26 日
 会計 大畑 陽子
 古田 佳奈子

上記の関係書類を監査した結果、相違なく適正に処理されていたことを認めます。

令和 6 年 9 月 26 日
 監事 梅原 頼子

新役員の紹介

本部役員＜任期 令和6・7年度＞

名誉会長	水谷 明弘	(鈴鹿大学・短期大学部 学長)
会 長	鎌田 美千代	(昭和56年度・養護教諭)
副 会 長	永岡 宏行	(平成16年度・食物栄養)
書 記	前澤 いすず	(平成11年度・食物栄養)
	服部 映里	(平成18年度・食物栄養)
会 計	大畑 陽子	(平成5年度・商経)
	古田 佳奈子	(平成30年度・食物栄養学)
監 事	梅原 頼子	(昭和59年度・食物栄養)
顧 問	有竹 千鶴	(昭和61年度・商経)
	福永 峰子	(昭和53年度・食物栄養)

滋賀県支部役員＜任期 令和5・6・7年度＞

支 部 長	原 浩子	(平成30年度・食物栄養学)
副支部長	安田 睦美	(平成29年度・食物栄養学)



恩師からの便り

元こども教育学部 養護教諭コース 教授 大野 泰子



今はない庄野キャンパスの保健実習室は、多様な養護活動の授業や研究活動など、学生とともに過ごしてきた場所であったことを思い出します。養護コースでは毎年恒例の救急法講習は

日本赤十字社三重県支部のご協力の元、8月に企画し汗をかきながら学生ホールや体育館で行いました。胸骨圧迫を力の弱い学生が努力してできるようになり、「赤十字救急法救急員証」資格取得してきました。学校保健の流れは変わり、学校現場では児童生徒の多様な健康ニーズに合わせた特別な支援や健康相談が求められ、教育の充実のため大学教育への移管として短期大学専攻科教育を始め、短期大学でも養護教諭1種免許取得した卒業生を送り出すことができました。短大2年課程教育の卒業生も、助教諭として先ず学校現場で力をつけ、念願の養護教諭としての活躍は大変喜ばしく思います。

郡山キャンパスは、いつも美しい建物の印影や自然の移ろいなどを実感できる場所です。退職して5年を経過しキャンパスに足を踏み入れ、懐かしい思いと同時に、大学の新たな姿も感じました。キャンパスの主人公は変わっても、鈴鹿大学は三重の養護教諭養成校として多数の卒業生を送り出してきました。養護教諭の職務である学齢期の児童生徒の学校保健教育が、健康リテラシー形成につながり、不易の価値あるものであり養成校として誇りです。

卒業生の近況

瀬川 彩 (平成25年度卒業・食物栄養学)



2014年卒業の瀬川彩です。

卒業後は日清医療食品に就職しました。今年、勤続10年表彰をしていただきました。

就職した当初は、こんなにも長く仕事を続けられるとは思っていませんでした。仕事は好きなのに、人間関係で嫌になることがありました。上司に、何度も「辞めたいです」「異動したいです。」と嘆いていました。

現在、病院と老健で栄養士事務のお仕事をしています。献立の作成、発注や、お客様とのやりとりなど、業務内容は多岐にわたります。

仕事をする上での自分の中の問題点は、人とコミュニケーションをうまくとることができずに、伝えたい事が上手に伝わらない事です。現在、チーフという事業所の責任者の職務についています。同じ事業所の社員に注意や指導、お客様とやりとりをする中で、私の言葉足らずで勘違いや別の問題が発生してしまう事があります。

私の場合、伝えたい事がたくさんあるのに、頭の中を整理できていないまま、お話をしてしまうため、一番大事な事が伝わっていませんでした。この問題に対して、最近している対処法は、お話をする前に伝えたい事を紙に書いて整理する事です。そうする事で、以前よりも上手に伝える事ができるようになりました。

在学中は社会人入試で入学したこともあり、授業についていくのに必死でした。仕事をする中で、鈴鹿短期大学で勉強した事が活かせる時が沢山あります。私は、あの時に鈴鹿短期大学を選んで良かったと思っています。

在学中は社会人入試で入学したこともあり、授業についていくのに必死でした。仕事をする中で、鈴鹿短期大学で勉強した事が活かせる時が沢山あります。私は、あの時に鈴鹿短期大学を選んで良かったと思っています。

近況・短大時代の思い出

総会の出欠席を入力いただいた出席フォームに、近況や短大時代の思い出などメッセージをお寄せいただきました。その一部をご紹介します。

- 私は平成12年に鈴鹿短期大学を卒業しましたが、在学中は木野本先生をはじめ、沢山の先生方にお世話になりました。また、在学中に知り合った友人とは今でも月に1度のペースで食事に出かけています。卒業後は日本福祉大学に編入学をして社会福祉を学び卒業後は介護福祉士として訪問介護の現場で働いています。(平成12年度卒業・生活学)
- 友達と一緒に励ましながら看護実習をしたり母校での養護教諭の実習を緊張しながら学習したのが良い思い出です。(平成11年度卒業・生活学)

編集後記

この度は、Bell Friend No.9の発行にあたりご執筆いただきました皆様方に心よりお礼申し上げます。会員数も8,500名以上となりました。大学・会員同士の懸け橋となれるよう、鈴友会活動を通して皆様の応援の一助となれば幸いです。ホームページでは、同窓会関連のイベントなどたくさんの情報を掲載しています。クラス会報告、近況報告等も、下記アドレスから見る事ができますので、ぜひご覧ください。

* 鈴友会のホームページ * <https://www.suzuka.ac.jp/> (鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部 HP 内)

※アドレスが変更になっています↑

Top→卒業生の方へ→同窓会→鈴友会